

複雑履歴、かかってこい！

AFTER

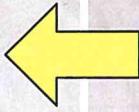
アウトバストリートメント、
スタイリング剤なしで
この仕上がり！

BEFORE

根元2回、毛先4回
のブリーチ履歴
半年前に縮毛矯正履歴



リアン式ストレートの特徴



1. 不自然なほどまっすぐな仕上がりにはならない
2. アルカリ性～酸性領域を使い分け、複雑履歴にも対応可能
3. 固定観念を覆す施術プロセス



そんな技術、
知りたくない！？



やってみよう、rian式。

さっそく実践！……の前に、
rian式ストレート誕生のきっかけをちょっと聞いてください。

rian式ストレートは
お客様との“ある約束”から
誕生した――

そして芽生えた想い



ストパーの教育が変わらない
と、技術革新は起こらない！

躍有名にした「rian式ストレート」は分かりやすく、複雑履歴にも対応可能だと大評判。しかし意外にも「8年前までは、ストパーなんて誰がやっても同じだと思つていたし、苦手でした」と語る。ある時顧客がガンを患つた。抗ガン剤治療を乗り越え、いよいよ地毛での生活へ。しかし髪のクセは強まり、生え方はムラがあつた。「ストパーしたいけど、今の技術では不自然な仕上がりになる……」葛藤の末、島山はそのお客に「半年間時間をください」と頼んだ。それからの半年間は生涯で最も勉強した。あらゆる製品を試しては失敗の原因を追究した。

半年後、約束通り施術を行つた。お客様は笑顔で帰つて行つた。今思えば改善点はあるが、ストパーの可能性を感じた瞬間だった。

セミナーは月10本、オンラインサロンは会員1450名の売れっ子美容師・島山亮介。宮城県仙台市にあるrian代表だ。彼を一躍有名にした「rian式ストレート」は分かりやすく、複雑履歴にも対応可能だと大評判。しかし意外にも「8年前までは、ストパーなんて誰がやっても同じだと思つていたし、苦手でした」と語る。ある時顧客がガンを患つた。抗ガン剤治療を乗り越え、いよいよ地毛での生活へ。しかし髪のクセは強まり、生え方はムラがあつた。「ストパーしたいけど、今の技術では不自然な仕上がりになる……」

葛藤の末、島山はそのお客に「半年間時間をください」と頼んだ。それからの半年間は生涯で最も勉強した。あらゆる製品を試しては失敗の原因を追究した。

セミナーは月10本、オンライン

サロンは会員1450名の売れっ

子美容師・島山亮介。宮城県仙台

市にあるrian代表だ。彼を一

躍有名にした「rian式ストレ

ート」は分かりやすく、複雑履歴にも対応可能だと大評判。しかし意外にも「8年前までは、ストパーなんて誰がやっても同じだと思つていたし、苦手でした」と語る。ある時顧客がガンを患つた。抗

ガン剤治療を乗り越え、いよいよ地毛での生活へ。しかし髪のクセは強まり、生え方はムラがあつた。「ストパーしたいけど、今の技術では不自然な仕上がりになる……」

葛藤の末、島山はそのお客に「半

年間時間をください」と頼んだ。

それからの半年間は生涯で最も

勉強した。あらゆる製品を試して

は失敗の原因を追究した。

やってみよう、rian式。

ストパーの
ニューランダードは
僕がつくる！



ストパーという武器を手に入れ以来、笑顔にできるお客様の数が増えた。クセや広がりという「マイナス」をリセットすることで、さらなる「デザイン」という「プラス」を楽しんでもらえるようになった。「元々ストパーが苦手だった僕が、今は使いこなしている。まだまだ苦手とする美容師が多いのは、教育に問題があるからでは？」

いつしかそんな想いが芽生えるように。ストパーを美容師がときめくような技術にしようと、コロナ禍第一波目の緊急事態宣言中にインスタグラムで発信を始めた。誰もが分かりやすいように例え話などを交え、楽しく解説することで、みるみる支持者が増えた。

「最低限、剝や髪について正しい知識を身につければ、達人じゃなくてもできる技術。常識と思われていることを疑つて作った理論で、少ないダメージで難しい履歴に対応できる人を増やしたいんです！」

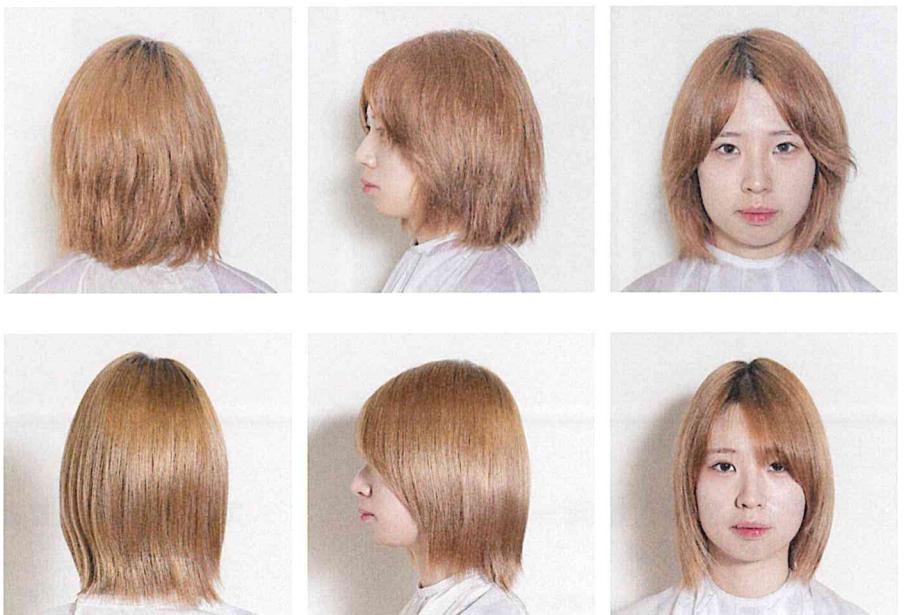
STEP. 1 等電点^{*}(酸性)でダメージ毛を伸ばそう

*健康な髪のpH値は弱酸性のpH4.5～5.5。これと同じpH値、つまり等電点の薬剤での施術は、安定していてリスクが少ない。

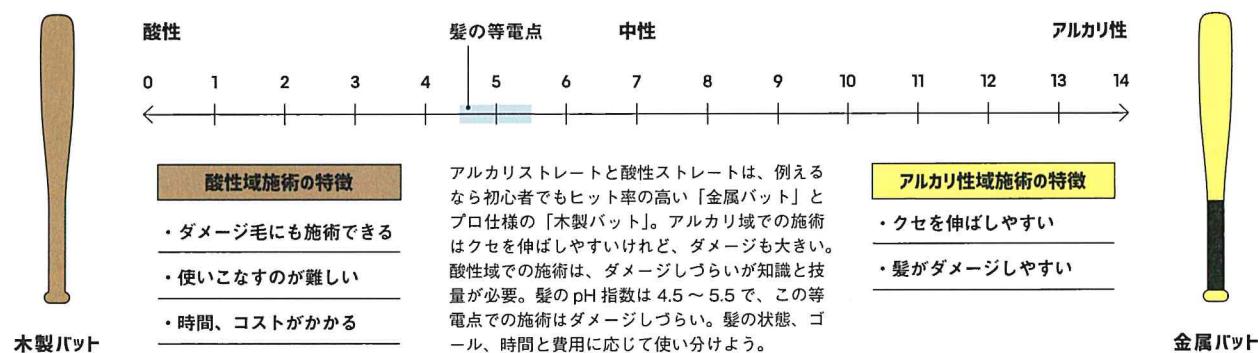
ここからは私、畠山がご説明！ BEFOREに注目。今回のモデルさんは、毛先に4回・根元に2回のブリーチ履歴あり。半年前に縮毛矯正履歴ありという難易度★★★★の手ごわい相手だ。アルカリリダメージが強いので、酸性域で還元する薬剤での施術に決定。「スピエラ」や「GMT」といった、酸性域で働く還元剤を使用する。等電点付近で、根元はpH5.5、毛先はpH5に薬剤のpH値を調整した。

さあ、AFTERをご覧いただこう。根元はペタンとならず、毛先はピンとなりすぎず、頭なりに自然におさまっていることが分かるだろう。

根元の髪は未来の毛先。将来デザインできる体力を残しつつ、優しくクセを伸ばしていこう。



pH値、どう使い分ける？



髪質を診断して薬剤を決めよう

ダメージレベルは2段階で確認だ。ドライでは、元のクセを見る。次にウェットにして、髪を上に向かってとき水の重さに負けて立たなければ、ダメージレベルは相当高い。今回は右記のように酸性域の薬剤選定をした。

RECIPE

①根元 チオグリコール酸、L-システインが入った総還元力5%のカーリング料：システアミン、L-

システィンが入った総還元力7%のカーリング料：スピエラ=1:1:5%、pH5.5に調整

②毛先 チオグリコール酸、L-システインが入った総還元力7%のカーリング料：システアミン、

L-システィンが入った総還元力5%のカーリング料：スピエラ=1:1:3%、pH5に調整



ウェットでCheck

ドライでCheck



STEP. 2

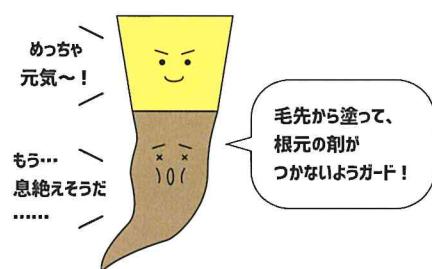
1液塗布

根元 1.5cm あけて、①をブリーチ履歴 2回の部分に塗布。根元ギリギリを攻めないのは、根元を自然に立ち上がらせるためだ。1.5cm あけると大体根元 1cm 付近まで 1 液は浸透する。その後、境目をオーバーラップさせてなじませながら、②を毛先に塗布。全体で 20 分以内に塗布できれば大丈夫だ。20 分放置してチェックしよう。

塗布の順番、根元→毛先と思ひ込んでない？

今回は根元→毛先の順で 1 液を塗布しているけれど、これにこだわらなくても OK。例えば毛先がダメージ毛で根元はバージン毛だった場合。根元の強い剤が毛先についてしまうと危ない。一番始めについた剤が最も浸透するから、先に毛先の剤を塗ってガードして、その後に根元の剤を塗る、という順番が有効な場合もあるんだ。

(もし根元と毛先のダメージ差が激しければ……)

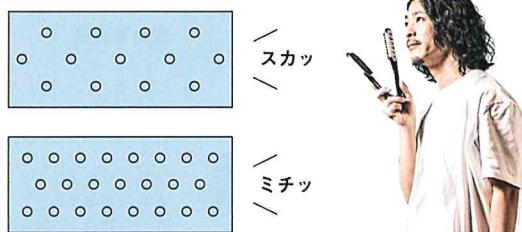


スライス幅は人による

1液塗布時やアイロンスルーリーの際にスライス幅を聞いてくる人が多いが、それには意味がない。人によって、また部位によって毛髪密度は全然違うから、スライス幅に基準なんて無いんだ。「1液が浸透するくらい」または「熱が通るくらい」を基準に考えて欲しい。

スライス幅は
いつでも、
「剤が浸透する
厚さ」！

(同じスライス幅でも……)

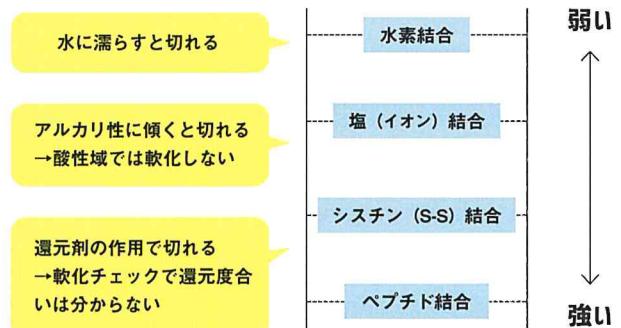


軟化チェックはするな！

混同しやすいが、ストレートで大事なのは軟化具合ではなく還元具合！髪内部は右の 4 つの結合で保たれていて、還元剤でアルカリストレートでは水素・塩・シスチン結合の 3 つを、酸性ストレートでは水素・シスチン結合の 2 つを切ることでケセを伸ばす。「イオン結合」は酸性域の施術では切れず、髪はほぼ軟化しない。還元具合は軟化チェックでは分からぬから、僕はいつも基本 20 分放置でチェックはしないんだ。



(髪は大きく 4 つの結合で保たれている)



STEP. 3

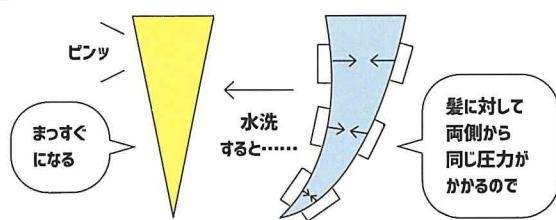
シャンプー

1液を洗い流そう。ちゃんと落とし切るために、しっかり泡立て欲しい。1つひとつの作業を丁寧に行なうことが仕上がりを変えるんだ。



アイロンで毛先は曲がらない

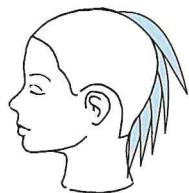
(内巻きにアイロンを当てても……)



アイロンで毛先を内巻きにしようとしても意味はない。ストレートアイロンを通していとき、髪に対して両側から同じ力がかかっているから、水で洗い流せば結局まっすぐになるんだ。

(正しい薬剤選定ができれば、髪は頭なりにおさまる)

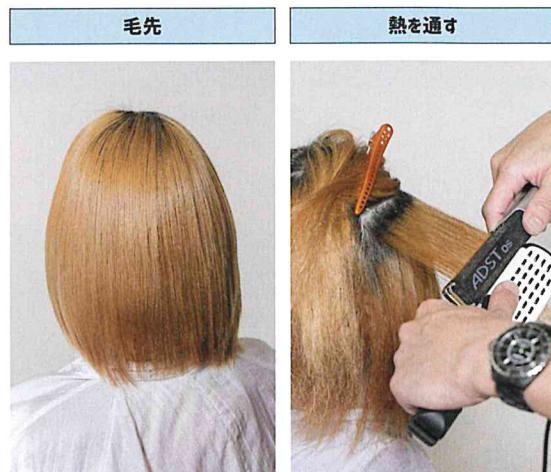
毛先が不自然にまっすぐになってしまるのは、薬剤が強すぎるから。特に酸性ストレートはクセの伸びがゆるやかなこともあります。正しい薬剤選定ができていれば、無理に曲げようとしても髪は頭なりに落ちて、自然におさまるはずだ。



STEP. 4

アイロン

ツインブラシでクセを伸ばしながら、アイロンはプレスせずに熱を通す感覚で入れよう。温度は180°Cだ。パネルをくすぐうときは、オンベースで引き出し、髪が自然に落ちる位置に下ろしていくイメージでやってみよう。



STEP. 5

2液塗布

最後の工程、2液塗布だ。シャンプー一台でたっぷり塗布してくれ。塗布量が不十分だと酸化不足を起こし、ストレートが固定しないことがあるからだ。

今回紹介したのはシンプルな方法。中間処理やトリートメントをプラスすれば、さらに上質な仕上がりを目指せる。ストレートはお客様を感動させられる素晴らしい技術であることを実感してほしい。

